

情熱のフラメンコ in ゆとろぎ ー魂の響きー

フラメンコは、今から400年ほど前にインドから放浪の民がスペインの南部アンダルシアに辿り着き、そこにあった民謡などと結び付き、今の形になったと伝えられています。東洋にその源を持つせいか、日本でも大変多くの人に愛されて、今ではその愛好家の数はスペインの次に多いとまで言われるようになりました。

哀愁を帯びたギターのリズム、切なく人生の悲哀や喜びを歌い上げるカンテ(唄)、緩急のある情熱的なバイレ(踊り)は私たち日本人の心の奥深くにある何かに強烈に響いてくるのです。

遠い国の芸術でありながらなぜか深く共感を覚える魂の響き…。

この公演では、フラメンコ本来の伝統的なスタイルの曲を中心に独自の感性で創作した曲とで構成し、その魅力の深さと広がりを多くの皆様にご紹介したいと思います。

ドラマティックな展開にどうぞ皆様「Ole(オレー)」という掛け声と共に楽しみいただきたいと思います！

入交 恒子プロフィール



高知県出身。

1980年よりフラメンコを小島章司氏に師事。

1986年 スペイン政府による奨学生として渡西。カルメン・コルテスに師事。

1987年「コンクルソ・デ・アルテ・フラメンコ東京」入賞。小松原庸子スペイン舞踊団入団。

1988,90年 セビリアのビエナルに出演。またスペイン国立劇場出演。

1992年 独立し、マヌエラ・カラスコ、アナ・マリア・ロペス等に師事。

1993年より「CONCIERTO FLAMENCO」リサイタルを2013年までに通算13回開催。

2006年、07年の文化庁芸術祭参加公演で優秀賞を2度受賞。

2008年 スペインのサラマンカ大学にて津軽三味線と共演。東京を中心に松本、札幌、高知で舞踊指導を行う。

2013,4年 NYカーネギーホールに出演。

2013年 グラナダ大学のジャパンウィークに出演。

2015～2017年、小松原庸子氏の各公演にメインソリストとして出演。

2016年12月 CONCIERTO FLAMENCO [ARANJUEZ]公演。ニューヨークの国連総本部とブロードウェイSignature Center出演

2017年5月ドイツのケルンにてFour Female Outside-The-Box に出演。

10月タブラオ「ガルロチ」にてRencuentro(再会)を上演。

2018年3月 パリ、日仏文化センターにて「魂の音」上演。

2019年8月 杉本彩氏とコラボ作品「もう一人の私」を発表。

各種劇場、ライブ出演のほか、ディナーショー、テレビ、CM、ポスター広告出演または振付指導など多方面で活動。

プログラム

1、道	アレグリアス	踊り:入交	6、旋律	アランフェス協奏曲より	ピアノ:歳森
2、粹	ソレアポルブレリア	踊り:パコ	7、伝統	ブレリア	ギター:高橋、小原
3、華	グアヒーラ	踊り:入交、カンパニー	8、孤独	ソレア	踊り:入交
4、宴	タンゴ	唄:ディエゴ、井上	9、哀愁	ファルーカ	踊り:入交、パコ
5、神秘	シギリージャ	踊り:入交、パコ	10、フィナーレ		全 員



バイレ/パコ・ドミンゲス ギター/高橋 紀博 ギター/小原 正裕 ピアノ/歳森 今日子 カンテ/井上 泉 カンテ/ディエゴ・ゴメス カンテ/エル・プラテアド パーカッション/朱雀はるな